

栗原文化会館 映画上映会

たまには映画なんてどうでしょう？

栗原文化会館ホール

入場料金 全席指定 **500円**

市内在住・在学小中学生以下無料
無料入場券は栗原文化会館で配布しています

10/25は2作品で500円!



©2020 MARRO WWG LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

グランパ・ウォーズ
おじいちゃんと僕の宣戦布告

10/24 FRI

入場 / 18:00 上映 / 18:30

Kurihara Weekend Movie



©2019この時代の・コアミックス「この世界の片隅に」製作委員会

この世界の片隅に

10/25 SAT

入場 / 13:30 上映 / 14:00



©榎周平 / 講談社 ©2024「サンセット・サンライズ」製作委員会

サンセット・サンライズ

10/25 SAT

入場 / 16:30 上映 / 17:00

チケット一般販売 9/24(水)9:00～ 栗原文化会館窓口にて販売

※プレイガイド、ローソンチケット等による販売はしていません。

◆主催：栗原市教育委員会 ◆お問い合わせ：栗原文化会館 TEL0228-23-1234

栗原文化会館 映画上映会 作品紹介

10/24 FRI

グランパ・ウォーズ おじいちゃんと僕の宣戦布告

■作品について

こんな大人げない爺さん見たことない！豪華キャストで贈る、祖父 vs 孫の抱腹絶倒の全面戦争。主演は名優ロバート・デ・ニーロ。近年も話題作に出演し続けるデ・ニーロが、頑固で意地っ張りなおじいちゃんエドを体当たりで熱演！生意気な孫のピーター役を『ピートと秘密の友達』、『ワンダーストラック』のオクス・フェグリー。エドの娘サリー役を『パルプ・フィクション』、『キル・ビル』シリーズのユマ・サーマン、そしてサリーの夫アーサー役を『ハングオーバー！消えた花ムコと史上最悪の二日酔い』などに出演するコメディアン、ロブ・リグルが演じる。『ディア・ハンター』以来となるデ・ニーロとクリストファー・ウォーケンの共演も注目。

■ものがたり

妻を亡くしたエド（ロバート・デ・ニーロ）は彼の娘サリー（ユマ・サーマン）の家族と一緒に暮らすために引っ越すことになる。孫のピーター（オクス・フェグリー）は、始めはおじいちゃんと暮らせることを喜んでいたものの、自分は部屋を明け渡し、屋根裏部屋で暮らすことを知り激怒。ピーターは、エドを追い出すために手紙を書き、宣戦布告。ピーターは、おじいちゃんが部屋を明け渡すようにあの手この手で攻撃をしかけるが、あまりにも度を越したイタズラにエドも激怒。悪友ジェリー（クリストファー・ウォーケン）の悪知恵を借り、ピーターに報復を始める。二人の部屋をかけた小さな戦争は、やがて隣人を巻き込み大騒動へと発展していく！果たして勝つのはエドか、ピーターか！？決戦の火蓋が切って落とされる！！

10/25 SAT

この世界の片隅に

■作品について

主人公すすさんを演じるのは女優・のん。片淵監督が「ほかには考えられない」と絶賛したその声でやさしく、柔らかく、すすさんに息を吹き込みました。すすさんを囲むキャラクターには細谷佳正、稲葉菜月、尾身美詞、小野大輔、潘めぐみ、岩井七世、牛山茂、新谷真弓ら実力派が集結。松竹新喜劇の座長・澁谷天外も特別出演しています。本作の音楽はコトリングが担当。ナチュラルで柔らかい歌声と曲想が、すすさんの世界を優しく包みこみます。

監督は片淵須直。原作はこの史代。第13回メディア芸術祭マンガ部門優秀賞ほか各メディアのランキングでも第1位を獲得。綿密なリサーチによる膨大な情報と、マンガ表現への挑戦がさりげなく織り込まれており、その創作姿勢と高い完成度から多くのマンガファン・書店員から熱い支持を得ています。NHK『花は咲く』アニメ版でタッグを組んだ2人が再び結集し、新たな感動をお届けします。

■ものがたり

18歳のすすさんに、突然縁談がもちあがる。良いも悪いも決められないまま話は進み、1944（昭和19）年2月、すすさんは呉へとお嫁にやって来る。呉はそのころ日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄え、世界最大の戦艦と謳われた「大和」も呉を母港としていた。見知らぬ土地で、海軍勤務の文官・北條周作の妻となったすすさんの日々が始まった。夫の両親は優しく、義姉の径子は厳しく、その娘の晴美はおっとりしてかわいらしい。隣保班の知多さん、刈谷さん、堂本さんも個性的だ。配給物資がだんだん減っていく中でも、すすさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日の暮らしを積み重ねていく。1945（昭和20）年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すすさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。そして、昭和20年の夏がやってくる――。

10/25 SAT

サンセット・サンライズ

■作品について

楡周平原作の『サンセット・サンライズ』（講談社文庫）を菅田将暉主演で映画化。書いたドラマは必ず注目を集めるといえるほど、期待と信頼を一身に浴びる宮藤官九郎が脚本を手がけ、『正欲』（23）の岸善幸監督との異色のコラボレーションから生まれた本作。都会から移住したサラリーマンと宮城県・南三陸で生きる住民との交流や、人々の力強さや温かさをユーモアたっぷりに描き、その背景にあるコロナ禍の日本、過疎化に悩む地方、震災などの社会問題と向き合いながら豊かなエンターテインメントに転化させたヒューマン・コメディ。

■ものがたり

新型コロナウイルスのパンデミックで世界中がロックダウンに追い込まれた2020年。リモートワークを機に東京の大企業に勤める釣り好きの晋作（菅田将暉）は、4LDK・家賃6万円の神物件に一目惚れ。何より海が近くて大好きな釣りが楽しめる三陸の町で気楽な“お試し移住”をスタート。仕事の合間には海へ通って釣り三昧の日々を過ごすのが、東京から来た〈よそ者〉の晋作に、町の人たちは気が気でない。一癖も二癖もある地元民の距離感ゼロの交流にとまどいながらも、持ち前のポジティブな性格と行動力でいつしか溶け込んでいく晋作だったが、その先にはまさかの人生が待っていたー？！